

セッション4 最後に会場の皆さんにメッセージ

【石川地区】

- ・最初に取り組んだことは、石川地区の現状や歴史を知ることだった。現状を踏まえ、今後を予測することが必要。

【山島地区】

- ・20万円と50万円の補助金を交付された。市民提案型まちづくり支援事業と違い、自由度が高く、事業への配分もできる。

【千代野地区】

- ・活動を準備会か本組織で実施するかを決めていく。準備会で実施するなら明確に目標を設定し、スケジュールを立てて、資料を作成して進めていく。規約と事業計画と役員、予算が決めればできる。活動して初めて課題が見えてくるので、早く活動するほうがいい。

【蝶屋地区】

- ・地区の現状を分析し、足りないものを中心に動いていけばいい。地区外の方がよく見えることがあるので、地区外の方から指摘してもらい、進むべき方向を決めていくのもいい。

【館畑地区】

- ・準備会は各種団体を集めた日に設立した。内容はみんなで、一つずつ決めていく。3カ月に1回ぐらいのペースで準備会を開催し、慌ててやる必要もない。事業は何でもいいのでやっていくとわかる。

【白峰地区】

- ・まちづくりは地域に応じて形が異なり、地域ごとにコミュニティのあり方が異なる。ただし、地域で同じベクトルを向けるかどうか。白峰は2地区で構成しているが、ほかの白山ろくの地区では多くの町内会があり、躊躇しているとできない。産みの苦しきも必要かと思う。